

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー ノイマン		ワークス	UGN支部長C	カヴァー	化学教師
	オプショナル		年齢	24歳	性別	男
覚醒	生誕	衝動	自傷	初期侵食率	35 %	
出自	疎まれた子	経験	力の暴走	邂逅	主人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	2	0	0			2	行動値	14
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	14
精神	4	1	1			6	戦闘移動	19
社会	2	0	0			2	全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	3		調達	1	
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	2		情報:UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
Fire Knife(60↓)	RC	6r+1	8	12		コンセ:サラマンダー(2)+焦熱の弾丸(1)+虚構のナイフ(3)
Fire Knife(80↓)	RC	7r+1	8	12		コンセ:サラマンダー(2)+焦熱の弾丸(1)+虚構のナイフ(3)
Fire Knife(100↓)	RC	8r+1	8	12		コンセ:サラマンダー(2)+焦熱の弾丸(1)+虚構のナイフ(3)
Fire Blades(100↓)	RC	8r+1	8	12		コンセ:サラマンダー(2)+焦熱の弾丸(1)+虚構のナイフ(3)+神機妙算(3)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:		合計回避:	
解毒剤		0	0		

ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	タス	消費
生還者(リターナー)	P	N			
霧谷雄吾	P 誠意	N 食傷			
親戚	P 有為	N 隔意			
杉山孝夫	P 庇護	N 不安			
	P	N			
	P	N			
	P	N			

最大財産P:	6	残り財産P:	4
--------	---	--------	---

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセ:サラマンダー	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-LV								
焦熱の弾丸	1	1	メジャー	視界	-	RC対決	-	
効果: A+[LV+2]。								
プラズマカノン	3	4	メジャー	視界	単体	RC対決	100↑	
効果: A+[LV×5]。								
フェニックスの翼	2	4	クリンナップ	至近	自身	自動		
効果: HPを[LV×5]点回復。非戦闘時1回/シーン。								
灰色の脳細胞	1		常時	至近	自身	自動		
効果: [行動値]に+[精神]する。								
神機妙算	1	3	メジャー	-	範囲(選択)シンドローム		80↑	
効果: 組み合わせたメジャーの対象を範囲(選択)に変更。LV回/シーン。								
虚構のナイフ	3	3	メジャー	-	-	[精神]対決	-	
効果: 組み合わせてA+[LV×3]。								
熱感知知覚	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: サーマグラフィ。感情や体調の変化を読み取り可能。<RC>								
炎の理	★	-	メジャー	至近	-	自動	-	
効果: 炎を作り出す。<RC>								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

生まれた時からオーヴァードだった。
 俺が自然にエフェクトを使うと冷たい視線を浴びせられた。
 衝動に襲われたとき、ふと目に入った火の着いた煙草を自分の右顔面に押し付けた。その痕が今でも残っている。
 その後UGNに拾われて、学校の化学科の教員をやっている。
 火傷痕は隠してはいないので、一部の生徒には怖がられていたりするようだ。
 一応、俺はお調子者な感じで怖がられないようにしているつもりなんだがな。
 最初の自傷後からは、煙草を所持していないと落ち着かなくなった。おそらく衝動のせいだろうか。
 攻撃エフェクトを使用する際は、基本的に煙草の火を発火源にする。
 Dロイス:生還者、なのは、自傷したって死ねないからだよ。自傷ってのはある意味一番死に近くて遠いんだ。
 だって現に生きてしまうのだから。